

児童虐待の発生予防等に関する研修会(ご案内)

日 時 平成25年10月19日(土) 17:00

場 所 山口県医師会 会議室(山口県総合保健会館6F)

山口市吉敷下東三丁目1番1号 TEL 083-922-2510

近年、児童虐待が大きな社会問題となっておりますが、その中でも「望まない妊娠・出産」が虐待死の事例に多く見られる特徴であることが明らかにされました。今回は、児童虐待防止のため、虐待の発生予防、早期発見・早期対応、虐待を受けた児童等に対する自立支援に関わる研修会を開催いたしますので、多数ご参加いただきますようご案内いたします。

17:00～

「 児童虐待の現状と課題 」

山口県健康福祉部こども未来課 主査 江藤雄司 氏

17:15～

特別講演 「 周産期からの虐待予防 」

認定NPO法人「カンガルーの会」

澤 田 敬 先生

※ 日本産婦人科医会研修参加証発行

※ 日本医師会生涯教育講座 1.5単位 (カリキュラムコード：1、6、14)

主催 山口県産婦人科医会
山口県医師会

TEL 083-922-2510 FAX 083-922-2527

認定NPO法人「カンガルーの会」

澤 田 敬 先生

虐待は年々増加しており、2012年度の児童虐待件数は 66,807件だった。被虐待死亡児は58人で、その内0歳児は25名43%だった。主な虐待者は母親である。0か月死亡は 11人(19%)であり、その内9人(82%)は一度も病院受診をしていなかった。ほとんどの虐待の原点は乳児期にある。大多数の虐待する母親は子ども時代虐待を受けていた、甘えで満たされていない、今辛いことをかかえている、相談相手がいない、精神疾患等何かで混乱をおこしている。出産前後の母親は精神的に敏感になり、赤ちゃん時代に逆戻りをしている。産前産後の温かい支えが必要である。

虐待予防として、保育園・幼稚園、小学校、中学校、高校での赤ちゃん等の触れ合いによる命の教育、性教育、妊娠届時チェックリストを使用し、妊娠中から病院・保健師によるリスク妊婦への温かい支援、出産前後の胎児エコー、立会分娩、母子同室育児を通して、病院スタッフ、家族一緒になっての母への支援、退院後の保健師の支え等を行っている。当日はその方法を具体的に紹介する。

【 略 歴 】

昭和41年	長崎大学医学部卒業 大学卒業後、長崎大学医学部附属病院・大学関連病院 東京国立こども病院で研修
昭和47年	高知県立西南病院小児科医長・後部長
平成10年	乳幼児・学童の心身症・異常行動に対する「あまえ療法」の確立で 日本小児科学会会頭より優秀研究賞を授与される
平成11年	高知県立西南病院より高知県立中央児童相談所に転勤 高知県立中央児童相談所医務主任
平成21年	NPO法人「カンガルーの会」理事長
平成23年	高知県立中央児童相談所退職
現在	認定NPO法人「カンガルーの会」理事長